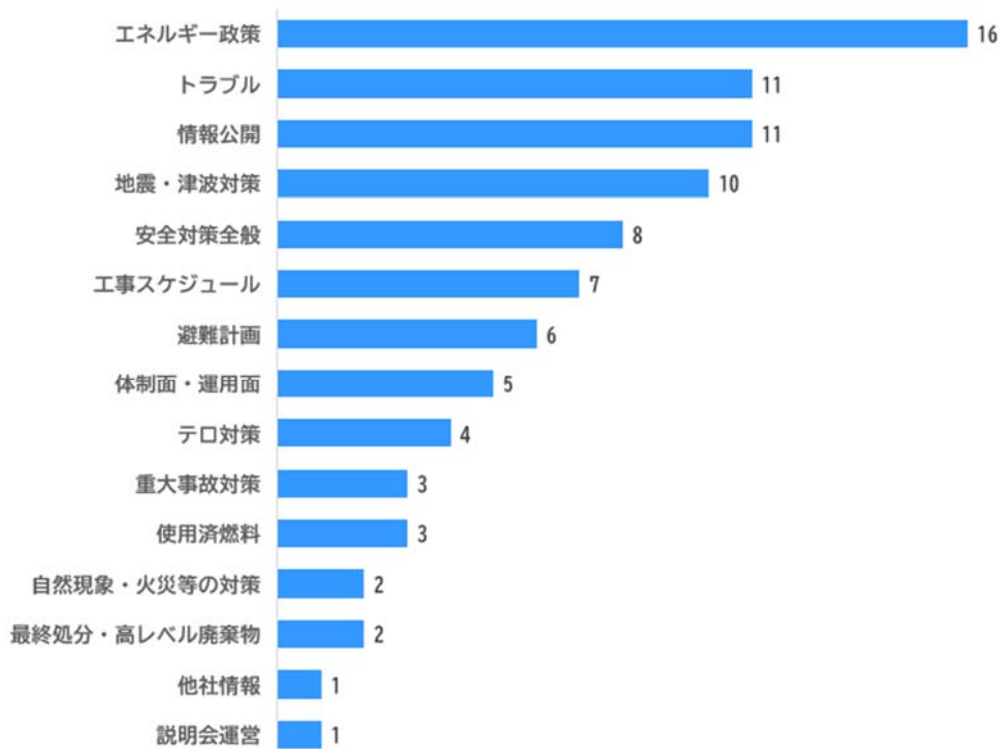


2024 年「東海第二発電所 対話形式による状況説明会」の実施結果

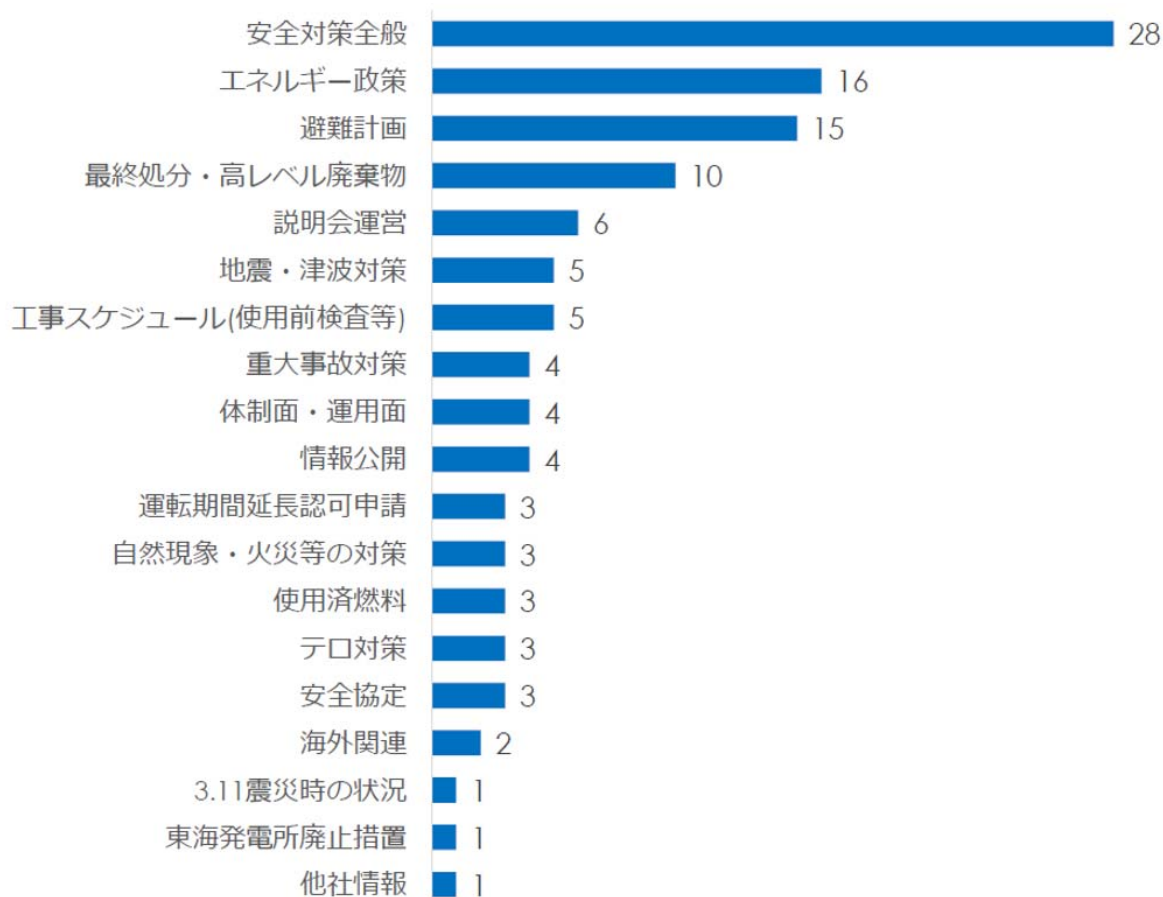
1. 実施期間 2024 年 9 月 22 日（日）～10 月 3 日（木）
2. 開催場所 東海村、水戸市、日立市、那珂市、常陸太田市、ひたちなか市にて
計 12 回開催
3. 開催時間 90 分（挨拶：5 分、説明：25 分、休憩：15 分、質疑応答：45 分）
4. 説明内容
 <第 1 部> ①日本のエネルギー事情
 ②我が国のエネルギー政策の基本方針
 ③日本の原子力発電所 稼動状況
 ④許認可状況と今後の見通し
 ⑤安全性向上対策工事の概要（動画のご視聴）
 ⑥防潮堤工事（鋼製防護壁）
 ⑦緊急時に備えた訓練
 ⑧地域の防災力向上への取組み
 ⑨非常時における支援体制の構築
 ⑩コミュニケーション活動
 <第 2 部> 対話形式による質疑応答
5. 参加者数 104 名（申込者数 121 名）
6. 質問総数 90 件

7. 参加者からのご質問、ご意見の分類と傾向

<2024 年 9 月～10 月（計 12 回）、質問数 90 件>



参考：前回…2023 年 7 月～8 月（計 11 回）、質問数 117 件



8. 主なご質問、ご意見と当社からの基本的な回答内容

(1) エネルギー政策

- ①**今後国内の原発で再稼働する発電所が増えても、六ヶ所村の再処理施設の稼働計画が見えない状況ではいずれ原発のプールは満杯になり、原発自体動かせなくなるのではないか。**

⇒リサイクル燃料貯蔵株式会社が担う中間貯蔵事業は、使用済燃料が再処理されるまでの間の時間的な調整を行うことを可能にするものであり、原子燃料サイクル全体の運営に柔軟性を付与する手段として重要な役割を果たすものであります。当社は、東京電力HD株式会社とともに、RFSが安全最優先に事業を進められるよう、引き続き全社をあげて支援してまいります。

- ②**現在の防潮堤工事などに大金を投じるなど再稼働するためのコストパフォーマンスには大変疑問がある。再稼働後の収益と見合っていない事業となっているのではないか。**

⇒地域住民の皆さまへの低廉な電気の安定供給のため、事業運営にあたっては、より一層の合理化及び効率化に努め、今後も受電会社にご理解いただけるよう説明してまいります。

- ③**地球温暖化が予想以上に進んでおり、半導体の工場等も安定した安価な電力を必要としています。脱炭素並びに電力の安定供給に原子力発電所の再稼働は必然だと思うが、今後の見通しはどうなっているのか。**

⇒脱炭素電源法案では、原子力発電はカーボンニュートラル電気の安定供給に資する重要な電源として位置づけられております。今後も発電所の安全性確保と地域住民の皆さまのご理解を得られるよう努めてまいります。

(2) トラブル

- ①**防潮堤（鋼製防護壁）の不具合のうち、一部の基礎が設計した位置に届いていないとのことだが、問題があるのではないか。**

⇒当社は、昨年4月に鋼製防護壁の北基礎鉄筋が所定の位置より約70cm高い位置で止まってしまった事象を確認しました。調査の結果、鉄筋は岩盤に到達しており、所定の位置より高い位置ではあるもののその鉄筋コンクリートは、構造強度上問題ないことを確認しております。

- ②**鋼製防護壁の不具合状況の説明について原電HPや今回の説明会で説明を受けたが、わかりにくかった。素人が聞いて納得するような説明になっていないと感じた。原電の説明に誠意を感じない。**

⇒今回の鋼製防護壁の不具合状況の説明に鳥観図や断面図を用いるなど立体的イメージが伝わるよう工夫をしましたが、説明がわかりにくいというご指摘は今後の説明対応に反映します。

(3) 情報公開

①防潮堤（鋼製防護壁）の不具合に気づいたのはいつで、その後公表、現在に至るまでの経緯はどうなっているのか。

⇒不具合事象の発見から現在に至るまでに経緯は以下のとおりとなります。

- ①2023 年 4 月：鋼製防護壁北基礎の鉄筋高止まりについて事象を確認
- ②2023 年 6 月：鋼製防護壁南基礎にコンクリート未充填及び鉄筋の変形等の事象を確認
- ③2023 年 8 月：鋼製防護壁北基礎にコンクリート未充填及び鉄筋の変形等の事象を確認
- ④2023 年 10 月：鋼製防護壁に確認された事象について HP にて公表
- ⑤2024 年 3 月：鋼製防護壁に関わるトピックスを紹介するバナーを HP に追加
- ⑥2024 年 3 月：不具合事象の概要、対策及び設計変更に係る耐震・耐津波評価を説明
- ⑦2024 年 6 月：不具合事象の全容について説明
- ⑧2024 年 8 月：不具合事象への対応方針について説明

今後は、具体的な設計方針の見直しを進め、原子力規制委員会の審査に真摯に対応してまいります。

②防潮堤（鋼製防護壁）の不具合の件で、原電には「わからなければごまかす」、「外部に知らせない」という隠蔽体質があるのではないか。

⇒防潮堤工事で確認された事象については、新検査制度に基づき手続きを実施しておりました。また、本事象は当社の公表基準に該当しておらず、また、防潮堤が供用開始前でなかったため公表するに至りませんでした。地域住民の皆さまの関心の高さを考慮し、一定の調査結果が纏まった時点で前広に公表することとしました。今後も、同様のご心配をおかけすることがないよう、公表基準の見直しを行い、適宜情報を公開してまいりますので、当社 HP をご確認ください。

(4) 地震・津波対策

①防潮堤の完成が2年くらい遅れるとのことだが、その間に発電所に大きな津波が来ても大丈夫なのか。

⇒2011年3月11日の東日本大震災時、発電所の運転に使用していた燃料は、原子炉から使用済燃料プールへ移動し保管中であり、使用済燃料は、核分裂反応が停止して崩壊熱によってしばらく熱を発生し続けるため、使用済燃料プールにて冷却しながら管理をしています。大きな津波が襲来し、仮に発電所内に設置している非常用ディーゼル発電機が使用できない状況になっても、既に高台に配備している高圧電源装置とポンプ車を使用することで使用済燃料プールの冷却を行うことができます。

②東海第二の基準地震動を 1,009Gal とした理由を教えてください。

⇒原子力発電所の耐震設計で想定する地震動は、日本全国一律ではなく、発電所ごとに、例えば地震の震源となるプレート境界との距離や活断層の分布、過去の地震発生状況などを総合的に評価して策定しています。また、活断層が近くにならない場合でも、念のための地震動を評価しています。

東海第二発電所では、東北地方太平洋沖地震の知見及び詳細な地震・地質調査の結果などを踏まえ、建物や設備などの設計の基本となる揺れ（基準地震動）の大きさをより厳しく見直し、最大加速度を 1,009 ガルにしています。

（５）安全対策全般

①発電所内で使用する蛍光灯や電源ケーブルは経年劣化により火災の原因になることも考えられます。東海第二発電所は運転開始から 40 年を超えているが、これらの火災対策としてどのような対応を行っているのか。

⇒東海・東海第二発電所では蛍光灯の LED 化を計画的に進めており、まだ交換していない箇所は定期的にサーモカメラを用いて発熱の有無を目視で確認しております。また、実機ケーブルを用いた環境試験（加速劣化）を行い、絶縁性能を維持できることを確認しております。

（６）工事スケジュール

①なぜ安全対策工事期間が延長になったのかお聞きしたい。また、安全対策工事の費用は工事期間が延長になっても増額しないのかお聞きしたい。

⇒防潮堤工事のうち鋼製防護壁の設計方針見直しに伴う工事工程、その他の工事工程についても再整理し、資機材の調達難や物流の停滞、作業員の確保等について一定の見通しがついたことから総合的に判断し工程変更を行いました。また、安全対策工事の費用については、これまで国に許認可いただいた安全性向上対策工事の設計方針に変更がないことから、総額に変更はありません。

（７）避難計画

①発電所から 5km 圏内の東海村の避難先は取手市などと決まっているようだが、ひたちなか市、日立市、水戸市など人口の多い都市の住民がスムーズに移動する方法等はどうなっているのか。

⇒原子力災害発生時の広域避難計画については、国の地域原子力防災協議会において内容を確認することとなっております。当社は、国の地域原子力防災協議会の作業部会に参画し、広域避難計画の検討に積極的に参加するとともに、防災訓練等を通じた広域避難計画や地域の原子力防災対策の継続的な改善活動にも積極的にを行い、地域防災の向上に向け事業者としての役割を果たしてまいります。

9. まとめ

今回の状況説明会では、地球温暖化対策、日本のエネルギー自給率などに関するご質問ご意見を多くいただき、参加者の国のエネルギー政策に関する関心の高さを確認することができました。

また、昨年4月に確認された防潮堤(鋼製防護壁)で発見された事象に対する不具合事象の詳細や公表時期に関する内容のほか、本年8月に公表した安全性向上対策工事の終了時期の延期に関するご意見ご質問を多くいただき、地域住民の皆さまへの情報開示、公開の在り方について改善が必要と認識しました。

当社といたしましては、今後も定期的に地域住民の皆さまへの説明会を開催させていただき、対話による意見交換を積極的に実施する取り組みを継続してまいります。

貴重なご意見等をいただいた地域住民の皆さまに対してまして、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

以 上